

2025年12月1日

各 位

会 社 名 三菱製紙株式会社

代表者名 代表取締役社長 木坂 隆一

(コード：3864、東証プライム)

問合せ先 コーポレート・ガバナンス本部

ガバナンス統括部長 塚本 貴夫

(TEL. 03-5600-1488)

2026年6月定時株主総会の開催会場に関するお知らせ

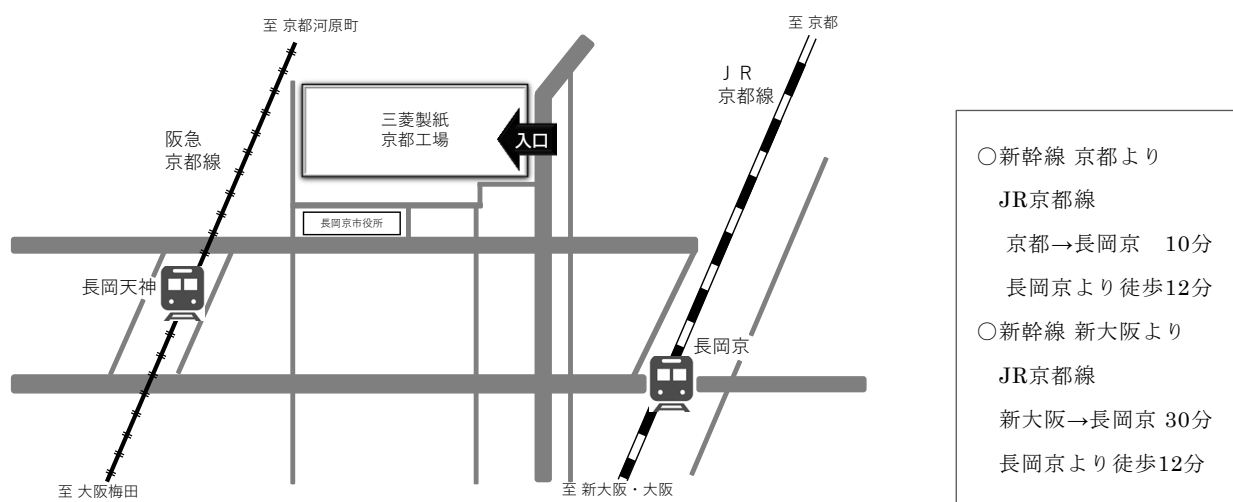
当社は、2026年6月開催予定の当社定時株主総会を当社京都工場において開催する予定といたしますのでお知らせいたします。

当社は従前より本社の所在する東京都において株主総会を開催してまいりましたが、当社の企業活動を現に営んでいるところを間近に感じてご理解を深めていただきたいこと等から、次葉「ご参考」のとおり2026年4月に本社機能の一部（企画・管理部門）を移転することを機に、定時株主総会の会場を当社京都工場内とすることとし、より多くの株主の皆様にご出席いただけますよう、本プレスリリースを通じて、予めご案内するものです。

(2025年の会場) 東京都中央区銀座3丁目9番11号 銀座フェニックスプラザ

(2026年の予定会場) 京都府長岡京市開田1丁目6番6号 当社 京都工場内

JR京都線 長岡京より徒歩12分／阪急京都線 長岡天神より徒歩10分



*会場にてご出席いただけない株主様におかれましては、各種お問い合わせを常時承っておりますので、当社ホームページのお問い合わせをご参照ください。

<https://www.mpm.co.jp/contact.html>

以 上

【ご参考】

○京都工場

1938年設立の京都写真工業を前身とし（1944年当社と合併）、永年、写真感光材料の技術を活かした製品を生み出してきました。現在は当社の機能商品の拠点として特色ある製品を手がけています。

敷地内に京都R＆Dセンターを設置した開発型工場です。



○京都工場での本社サテライトオフィス開設

当社は、2026年4月に、京都工場内の既存建物を大規模に改修して本社サテライトオフィスを設け、本社機能の一部（企画・管理部門）を移転します。工場設備の有効活用を図るとともに、BCP（事業継続計画）のための本社機能の地理的分散、現場に密接した業務改革の推進等を目的とするものです。また、同工場内にある京都R＆Dセンターでは、イノベーション拠点の強化を目指した改築を進めています。

研究開発、生産、企画・管理の機能を集積し、今後の当社において、改革を一層進める中核的な役割を果たしてまいります。

<2026年4月開設予定のサテライトオフィス（イメージ図）>

